

重点取組名	地域資源活用システムの確立
普及活動担当	鳥根県川本農林振興センター農業普及部大田支所 (現 鳥根県西部農林振興センター県央事務所農業普及部大田支所)
主要な活動地域・対象農業者	大田市・瀬摩郡内 大田市肉用牛改良組合、温泉津町畜産団体連合会、仁摩町肉用牛改良組合 J A石見銀山酪農部会、三瓶開拓酪農協同組合、大田市酪農協同組合
取組結果・成果 <取組みのねらい>	●取組みのねらい 大田地方水田農業ビジョンの推進に向け、関係機関・団体との密接な連携のもと、普及組織が地域のコーディネイト役となって、堆肥散布システムの確立、放牧ネットワークシステムの充実強化・子牛生産分業システムの確立、労働力補完システムの確立を行う。
①活動目標 (実績)	【放牧ネットワークの強化】 水田放牧実態調査 3回 (3回) 【子牛分業システムの確立】 子牛分業システム意向調査・事例調査 2回 (3回) 【堆肥散布システム】 システム構築検討会 4回 (3回) モデル地域調査・推進 3回 (4回) 堆肥及び土壌診断 2回 (2回)
②成果目標 (実績)	【放牧ネットワークの強化】 放牧ネットワーク活用件数 6件 (5件) 参加人数 30人 (42人) 放牧面積 200 ha (186.5 ha) 【子牛分業システムの確立】 子牛販売額 (実績記載省略) 子牛生産頭数 506頭 (453頭) システム実施数 2件 (0件)～システム確立 【堆肥散布システム】 生乳販売額 (2,153百万円) 全体計画策定 (策定) モデル地区設定 3地区 (3地区) 堆肥散布システムにおける堆肥散布面積 30 ha (38 ha) 堆肥散布グループ 1グループ (1グループ)
連携機関、協議会等	地域資源活用システムの確立プロジェクト (西部農林振興センター)
取組の特徴や取組に際しての工夫	【放牧ネットワークの強化】 ・核となる農家への水田放牧指導。 ・「放牧事務提要」を作成して配付し、畜産組織と集落間の契約を促進。 【堆肥散布システム】 ・各営農組合を対象として堆肥の利用推進を働きかけた。 ・営農組合への堆肥流通のための情報提供を畜産農家サイドへ実施。
【参考】	